

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和8年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	1110.7	0.0	1162.4	0.0	1113.9	0.0
備蓄米	146.1	0.0	146.1	0.0	146.1	0.0
飼料用米	116.9	0.0	25.0	0.0	45.0	0.0
米粉用米	0.6	0.0	1.5	0.0	5.0	0.0
新市場開拓用米	4.1	0.0	32.5	0.0	50.0	0.0
WCS用稲	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
加工用米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
麦	31.5	0.0	32.0	0.0	35.0	0.0
大豆	34.3	0.0	38.0	0.0	45.0	0.0
飼料作物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
・子実用とうもろこし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
そば	14.5	0.0	15.0	0.0	16.0	0.0
なたね	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地力増進作物	2.8	0.0	2.0	0.0	10.0	0.0
高収益作物	5.1	0.0	6.0	0.0	8.0	0.0
ニンニク	5.1	0.0	6.0	0.0	8.0	0.0
産地ブランド 黄美香・シャインマスカット	0.5	0.0	2.0	0.0	3.0	0.0
その他振興作物野菜	81.2	0.0	82.5	0.0	85.0	0.0
その他振興作物果樹	208.7	0.0	208.1	0.0	195.0	0.0
その他	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
・花き、花木	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
畑地化	9.9	0.0	7.9	0.0	0.0	0.0

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	ニンニク （基幹作）	振興作物助成	作付面積	（令和５年度） 5.1ha	（令和８年度） 8.0ha
2	小麦（基幹作）	戦略作物収量向上助成	取組面積 収量	（令和５年度）31.5ha 227.5kg/10a	（令和８年度）35.0ha 250.0kg/10a
3-1	大豆（基幹作）	大豆栽培助成	取組面積	（令和５年度）34.3ha	（令和８年度）45.0ha
3-2	有機大豆（基幹作）		収量	79.7kg/10a	150.0kg/10a
4	そば（基幹作）	土地利用型作物 収量向上助成	取組面積 収量	（令和５年度）14.5ha 30.5kg/10a	（令和８年度）16.0ha 60.0kg/10a
5	飼料用米 （基幹作）	飼料用米複数年契約 取組助成	取組面積	（令和５年度）101.4ha	（令和８年度）30.0ha
6	飼料用米 （基幹作）	飼料用米単年契約 取組助成	取組面積	（令和５年度）15.4ha	（令和８年度）15.0ha
7	米粉用米 （基幹作）	米粉用米取組助成	取組面積	（令和５年度）0.6ha	（令和８年度）5.0ha
8	ヘイオーツ、青刈りえん 麦、ソルガム類（基幹作）	地力増進作物取組助成	作付面積	（令和５年度）2.8ha	（令和８年度）10.0ha
9	黄美香、シャインマスカッ ト（基幹作）	産地ブランド作物助成	取組面積	（令和５年度）0.5ha	（令和８年度）3.0ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は３年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:

協議会名:

整理番号	使途 ※1	作 期 等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	振興作物助成	1	12,000	ニンニク	実需者等へ出荷、販売を行うこと
2	戦略作物収量向上助成	1	12,000	小麦	実需者と契約及び出荷、販売を行うこと、土壤診断に基づく適正な施肥を行い、件の改善を行うこと。
3-1	大豆栽培助成	1	12,000	大豆	実需者と契約及び出荷、販売を行うこと、別表1のうち、昨年取組していない取組を一つ以上実施すること。
3-2	大豆栽培助成	1	15,000	有機大豆	無農薬栽培及び有機資材を施用して栽培していること。
4	土地利用型作物収量向上助成	1	15,000	そば	実需者と契約及び出荷、販売を行うこと、排水対策・ほ場条件の改善実施(明渠等)、別表1そばの生産性向上等に関するメニューの技術要件一覧表の中から、昨年実施していない取組を一つ以上取組むこと。
5	飼料用米複数年契約取組助成	1	33,000	飼料用米	別表3 生産性向上取組メニューのコスト低減技術(取組分類参考)を必ず一つ選択し、その他異なる技術の一つ選択し取組を行うこと。
6	飼料用米単年契約取組助成	1	20,000	飼料用米	別表3 生産性向上取組メニューのコスト低減技術(取組分類参考)を必ず一つ選択し、その他異なる技術の一つ選択し取組を行うこと。
7	米粉用米取組助成	1	20,000	米粉用米	実需者と契約及び出荷、販売を行うこと。専用品種で栽培していること。
8	地力増進作物取組助成	1	3,000	ヘイオーツ、青刈りえん麦、ソルガム類	地力増進作物を栽培、すきこみ、次年度に高収益作物を作付すること。
9	産地ブランド作物助成	1	45,000	黄美香、シャインマスカット	シャインマスカットは新種から4年間助成対象。実需者等へ出荷、販売を行うこと。

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができます。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作物を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作物を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的な要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。